

各支庁長様

住宅都市部長

## 台所換気扇の使用による石油ストーブの 異常燃焼の防止について

最近の公営住宅の高気密化に伴い、集合煙突に接続する通常の石油ストーブを使用している家庭において、台所の電動換気扇を使用中にストーブの不完全燃焼や火が突然消える異常燃焼が起きております。

この現象について、道立寒地建築研究所で札幌市営住宅や旭川市の道営住宅神居団地を調査した結果、室内の換気口をすべて閉め、台所の換気扇を回した時に異常燃焼が起きることが分かりました。

このことは、台所の換気扇が強制排気型であるため、室内の圧力が低下してストーブ煙突内の圧力が室内より高くなる「逆圧」状態になるため発生したものであります。

このため、昭和55年度以降に建設された断熱性能の高い道営住宅の入居者に対して、台所の換気扇を使用するときは、室内換気口を開けて、外の新鮮な空気を取り入れるよう別紙により注意を呼びかけてください。

また、市町村営住宅についても同様に考えられますので、管下市町村に対しても指導願います。

(住宅課住宅管理係)

# お 知 ら せ

入 居 者 各 位

支庁経済部建設指導課長

日頃、道営住宅の管理にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

最近、断熱性能の向上により、高機密化された道内の公営住宅において、集合煙突に接続する石油ストーブを使用している家庭で、室内の換気口を閉めきったまま、台所の電動換気扇を使用した場合に石油ストーブの不完全燃焼や火が突然消える事例が発生しております。

このことは、台所の換気扇が強制排気型であるため、これを使用中に室内の圧力が低下して、ストーブ煙突内の圧力が室内より高くなる「逆圧」状態になるため起こったものであります。

つきましては、次の事項に注意願います。

台所の電動換気扇を使用する際は、必ず室内の換気口を開け、  
外の空気を取り入れてください。